

2023年度 看護科研修計画			令和5年4月(軽米病院)					
項目	対象	到達目標	目標	研修内容・方法	実施期間	e-ラーニング(学研他・オンラインセミナー)	評価方法	
オリエンテーション	新採用者 転入者	当院看護科の概要を理解する	1.看護科・概要・方針、組織体制について理解できる 2.当院の看護科のキャリア開発について理解する	講義 1.看護科理念・概要・基本方針・組織体制 2.看護科運営組織体制・会議及び委員会 3.看護業務基準・看護倫理 4.教育理念・キャリア開発プログラム 5.勤務者としての心構え・接遇・就業規制 6.看護科自治会 他	4月			
キャリア別	レベルⅠ	新人	担当看護師としての能力を身につける (基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する)	①助言を得てケアの受け手の状況(場)のニーズをとらえることができる ②助言を得ながら、安全な看護を実践することができる ③関係者と情報共有ができる ④ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る ⑤社会人・組織人としての自覚を持ち、看護職者として責任ある行動ができる ⑥看護に必要な知識について、主体的に学習できる *レベルⅠの行動目標の内B以上に到達しない項目を強化する	新人看護職員研修プログラム参照	1年間	新人看護職員研修プログラム参照	臨床看護実践能力指標 【レベルⅠ・評価表】 ・新人看護職員研修到達目標・評価表
		2年目以降			事例(課題)実践レポート 1)課題取り組み説明 2)実践計画書作成 3)実践報告会(部署内)	5月～R6 1月 R6 1月	①「事例で学ぶやさしい看護過程」(45分) ②「みえないニーズをとらえよう～精神的・社会的・スピリチュアル ニーズのとらえ方～」(45分)	・課題研修 ・課題e-ラーニングの視聴 ・期限の遵守・レポートの内容
	レベルⅡ	担当看護師として自立し、受け持ち看護師を目指す (標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する)	①ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえることができる ②ケアの受け手や状況(場)に応じた看護実践ができる ③看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる ④ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる ⑤担当看護師としての役割発揮ができる ⑥チームの目標達成のためにメンバーとしての役割を遂行できる ⑦自己学習課題を明確にし、取り組むことができる	テーマ1:受け持ち患者の看護過程の展開 1)導入講義「ケースレポートの書き方とは」 「看護理論の活用」 2)ケースレポート発表会	5月 11月	①よりよい看護ケアのためのケーススタディー(事例研究)～実践につな げる研究とは～(27分) ②「看護倫理」講義	臨床看護実践能力指標 【レベルⅡ・評価表】 ・課題e-ラーニングの視聴と講義受講 ・課題研修参加態度 ・期限の遵守 ・レポートの内容 プレゼンテーション ・受け持ち看護師の評価表	
	レベルⅢ	受け持ち看護師として自立し、役割モデルを目指す (ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する)	①ケアの受け手や状況(場)の特性を踏まえたニーズをとらえることができる ②ケアの受け手や状況(場)の特性を踏まえた看護実践ができる ③ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる ④ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる ⑤受け持ち看護師としての役割ができる ⑥チームリーダーやコーディネーターとしての役割ができる ⑦後輩や学生に根拠に基づいた指導ができる	テーマ1:受け持ち患者の個別的な看護過程の展開 1)導入講義「多職種連携」 研修を活かした部署で看護実践する 2)看護実践報告会 テーマ2:(実施可能な)看護研究計画書の作成と発表 1)看護研究導入講義 ・研究計画書の意義と書き方 ・文献検索 テーマの絞り込み(ディスカッション) 2)研究計画書発表会	5月～12月 12月 5月～2月 2月	①チーム医療の極意～専門職がもちたいリーダーシップの考え方～ (30分) ②もう一度振り返ろう！チーム医療の基本(29分) ①「看護研究とは？どうして研究するの？」(50分) ②研究テーマの絞り込み(42分) ③倫理的配慮の基本(23分) ③研究計画書を作成する(32分)	臨床看護実践能力指標 【クリニカルラダー】 レベルⅢ・評価表 ・課題e-ラーニングの視聴 ・課題研修参加態度 ・期限の遵守 ・レポートの内容 プレゼンテーション ・受け持ち看護師の評価表	
	レベルⅣ	部署において、看護の立場でリーダーシップを発揮できる (幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する)	①ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえることができる ②さまざまな技術を選択・応用し看護実践ができる ③ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる ④ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴う揺らぎを共有でき、選択を尊重できる。 ⑤看護単位の問題解決や看護の質向上のための取り組みにおいて、リーダーシップを発揮できる ⑥メンバー、学生に教育的関わりができる	テーマ1:幅広い視野で予測的判断を持った看護展開の実践 1)導入講義「リーダーシップ、現状分析、問題解決法、PDCAサイクル」またはe-ラーニング 2)看護実践報告会	6月～R6 1月 R6 1月	①看護師として考えるカンファレンス ～看護過程を看護実践につなぐ方法～(45分) ②中堅ナースに伝えたい 看護マネジメントの基礎(41分)	臨床看護実践能力指標 【クリニカルラダー】 レベルⅣ・評価表 ・課題e-ラーニングの視聴 ・課題研修参加態度 ・期限の遵守 ・レポートの内容 プレゼンテーション	
レベルⅤ	医療のチームにおいて、看護の立場でリーダーシップを発揮できる (より複雑な状況においてケアの受け手にとっての最適な手段を選択し QOLを高めるための看護を実践する)	①ケアの受け手や状況(場)の関連や意味を踏まえニーズをとらえることができる ②最新の知見を取り入れた創造的な看護実践ができる ③ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かすこと ができる ④複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる ⑤組織の安全文化を培う向上させる役割ができる ⑥看護の質保証にむけ管理的思考と行動ができる	テーマ1:より複雑な状況にある患者のニーズに対して多職種 と連携しリーダーシップを発揮して看護を実践する 1)導入講義「多職種、他施設との連携の中で問題解決」 2)看護実践報告会	6月～1月 1月	①これからのコーチング・ファシリテーション ～基礎から実践のコツまで～	臨床看護実践能力指標 【クリニカルラダー】 レベルⅤ・評価表 ・課題e-ラーニングの視聴 ・課題研修参加態度 ・期限の遵守 ・レポートの内容 プレゼンテーション		
全体研修	研修委員会	看護要員	今年度の看護科の方針を理解し重点取組事項の達成のために役割を果たす	1.今年度の看護科の方針を理解する 2.看護の基本となる思考の基礎を作る 3.本年度の重点取組事項の達成に向けて、必要な専門的知識・技術を習得する	テーマ1:今年度の看護科方針を知る 1)総看護師長講話 テーマ2:管理薬品(麻薬) 1)講義・薬剤師 テーマ3:認知症看護(身体抑制) 1)講義・認知症看護認定看護師 テーマ4:看護倫理研修 1)講義・慢性疾患看護専門看護師 テーマ5:糖尿病看護 1)講義・糖尿病看護認定看護師	5月 6月 7月 8月 9月		・研修後アンケート
	記録委員会	看護職員	重症度・医療看護必要度の評価ができる	1.今年度の看護科の方針を理解する 2.看護の基本となる思考の基礎を作る 3.本年度の重点取組事項の達成に向けて、必要な専門的知識・技術を習得する	1)講義・演習 重症度医療看護の必要度の評価方法 必要度記録の書き方 必要度評価演習	8月		・研修後アンケート
	高齢者看護委員会	看護職員	今年度の看護科の方針を理解し重点取組事項の達成のために役割を果たす	1.今年度の看護科の方針を理解する 2.看護の基本となる思考の基礎を作る 3.本年度の重点取組事項の達成に向けて、必要な専門的知識・技術を習得する	テーマ1:認知症看護の実践 1)認知症看護認定看護師の講義 「認知症高齢者の看護の実践に必要な知識」	9月		・研修後アンケート
	臨地実習委員会	看護職員	臨地実習指導に関する知見を得、自己の実習指導に役立てる	1.今年度の看護科の方針を理解する 2.看護の基本となる思考の基礎を作る 3.本年度の重点取組事項の達成に向けて、必要な専門的知識・技術を習得する	1)講義 臨地実習指導者講習会伝達講習	10月		・研修後アンケート
管理研修	看護師長	看護師長	社会・看護の動向を捉え、看護管理を実践できる	1.社会・看護の動向を捉え、積極的に経営に参画する 2.看護単位の運営方針を基に自律した管理をする 3.看護単位のみならず看護部全体の看護サービスの向上を図る 4.危機管理システムを運用し、情報の共有及び患者・職員の安全を図る 5.スタッフ個々のキャリアの発達を支援し、キャリア開発を推進する	1)重点取組事項の課題 2)労務管理 3)人材育成	6月～10月	①中間評価を最大限に活かす目標管理～年間目標を見据えた評価と 人材育成 ②人事考課とマネジメントラダーを活用する事例 ③管理者からみるスタッフのメンタルケア	マネジメントラダー評価表
	看護師長補佐	看護師長補佐	発展的に看護管理を実践できる	1.病院の理念・運営方針、看護科の理念・基本方針を理解し、積極的に経営に参画する 2.看護単位の運営方針を基に主体的に管理する 3.看護単位の看護サービスを評価・改善し、継続的な向上を図る 4.危機管理システムを活用し、患者及び職員の安全を図る 5.スタッフ個々のキャリア発達を支援し、自律した看護師長を育成する	1)重点取組事項の課題 2)労務管理 3)人材育成		①今日からリーダー！スタッフを巻き込むマネジメント術 ①多職種連携を基盤としたアドバンス・ケア・プランニング(ACP) ～入退院支援・地域包括ケアからの視点から～ ③管理者からみるスタッフのメンタルケア	マネジメントラダー評価表
	主任看護師	主任看護師Ⅱ	必要時に支援を受け、看護管理を実践できる	1.病院の理念・運営方針、看護科の理念・基本方針を理解し、経営に参画する 2.看護単位の運営方針を基に支援を受けながら管理する 3.質の高い看護サービスが提供できるように管理する 4.危機管理システムを活用し、患者及び職員の安全を図る 5.スタッフ個々の臨床実践の能力を把握し、キャリア発達を支援する		9月		
		主任看護師Ⅰ	支援を受けながら看護管理を実践できる	1.病院の理念・運営方針、看護科の理念・基本方針を理解し、支援を受けながら経営に参画する 2.看護単位の運営方針を基に、支援を受けながら管理する 3.支援を受けながら、質の高い看護サービスが提供できるよう管理する 4.危機管理システムを活用し、患者及び職員の安全を図る 5.支援を受けながら、スタッフ個々の人材育成に目をむける				
看護補助者研修	看護補助者	看護職との協働について理解し看護補助者としての必要な知識と技術を 習得する(レベルⅠ) 看護補助者として自律し、役割モデルとなる(レベルⅡ)	1.基準・手順に基づいて、看護補助者業務を安全・確実に行うことができる 2.社会人・組織人としての自覚をもち、看護補助者として責任ある行動ができる 3.業務に必要な知識・技術について、主体的に学習できる 1.看護補助者業務を患者の個性に合わせて、安全・確実に行うことができる 2.社会人・組織人としての自覚をもち、看護補助者として責任ある行動ができる 3.業務についての学習課題を明確にし、取り組むことができる	1)講義・演習 ・総看護師長講話(医療制度概要と病院の機能組織 チームの 一員としての看護補助者業務・守秘義務・個人情報保護) 2)日常生活に関わる業務の知識・技術の習得(認知症患者の 対応) 3)基礎的な知識・技術の習得(移乗の仕方) 4)医療安全(基礎編) 5)感染防止(基礎編)	5月～ 12月	1)講義:総看護師長 2)認知症患者の対応 3)講義:講師 作業療法士・理学療法士 4)医療安全～患者誤認による重大事故対策を中心に～ 5)感染予防～手衛生術、標準予防策など～	・参加率 ・アンケートによる理解度 ・看護補助者ラダー レベル評価表Ⅰ・Ⅱ	
復職支援研修	1年以上の休職から復職する職員	職場復帰の不安を軽減できる	1.今年度の看護科方針・重点取組事項について理解する 2.就業後の労働条件や支援体制について理解できる	1)復職前プログラムに沿った支援(本人と相談しながら) 2)復職時オリエンテーション 2)復職後プログラムに沿った支援(復職プログラム日誌の活用)	復職時期に 合わせて		・復職プログラム日誌 ・定期的な面談	